



## Press release

2020年3月30日

一般社団法人ドライブレコーダー協議会

### 【ドライブレコーダー協議会】 ドライブレコーダーの「製品テスト」結果を公表

ドライブレコーダー協議会は、普及が進むマイカー等向けのドライブレコーダー26機種について、ユーザーへの情報提供等を目的に、基本的な機能を調査した「製品テスト」結果を公表しました。

(一社)ドライブレコーダー協議会(所在地:東京都大田区、会長:宮寄拓郎)は、2020年3月30日(月)、市場で販売されるコンシューマー向け(マイカー等向け)ドライブレコーダー24社26機種の基本的な機能を調査し、結果を初めて公表しました。

近年、「あおり運転」に対する自己防衛等もあり、マイカーにおけるドライブレコーダーの普及が急速に進んでいます。これに伴い、市場では多岐に渡る製品が発売されていますが、なかには説明書等にかかれた仕様と実際の性能が大幅に異なる製品も見受けられるのが現状です。

ドライブレコーダー協議会では、製品テスト部会(部会長:小野治良)において、従来から市場に流通する製品の画角等基本機能の調査を行い、会員企業間で活用してきましたが、今年度より、ユーザーへの啓発とメーカーへの注意喚起を目的に、一部結果を公表することとしました。

製品テストの結果、カタログ仕様と実機との性能の乖離3機種、画像飛びの原因となるファイル間ギャップが過大なもの4機種など、改善が必要な製品が市販されていることを確認しました。今後、調査内容、調査精度の向上を目指し、よりユーザーの製品選びの参考になる情報を提供していくとともに、2018年度に発表した「製品ガイドライン」についてもさらに整備を進めていく予定です。

以上

問い合わせ先

一般社団法人ドライブレコーダー協議会 事務局/製品テスト部会

〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目3番7号 スリージェ南大井ビル4F

【Eメール】 [info@jdrc.or.jp](mailto:info@jdrc.or.jp) 【報道関係の方】 [pr@jdrc.or.jp](mailto:pr@jdrc.or.jp)

(参考)

【製品テスト結果の詳細】

ドライブレコーダーが記録することができる画角の表記（水平・垂直・対角の画角）については、26機種中、対角のみの機種が8機種ありました。また、水平・垂直の記載がある18機種中、表記と記録映像との乖離が10%以上のものが3機種ありました。

ドライブレコーダーは、画像を一定時間ごとに一つのファイルとして記録しています。記録される画像ファイルと画像の間に0.2秒超のギャップがあると、記録された画像が途切れることがあります。ファイル間ギャップが0.2秒を超えるものが26機種中、4機種ありました。

LEDの交通信号機は、50Hzと60Hzで駆動されているため、ドライブレコーダーの仕様によっては、信号が画像に移らない場合があります。以前の製品では、このような問題点がある製品が市販されていたこともありました。しかし、今回の製品テストでは、数秒以上の長周期での消灯状態が見られた機種はありませんでした。

【ドライブレコーダー製品テスト機種】

	対象メーカー	対象機種
会員	12社	14機種
会員外	12社	12機種
計	24社	26機種

